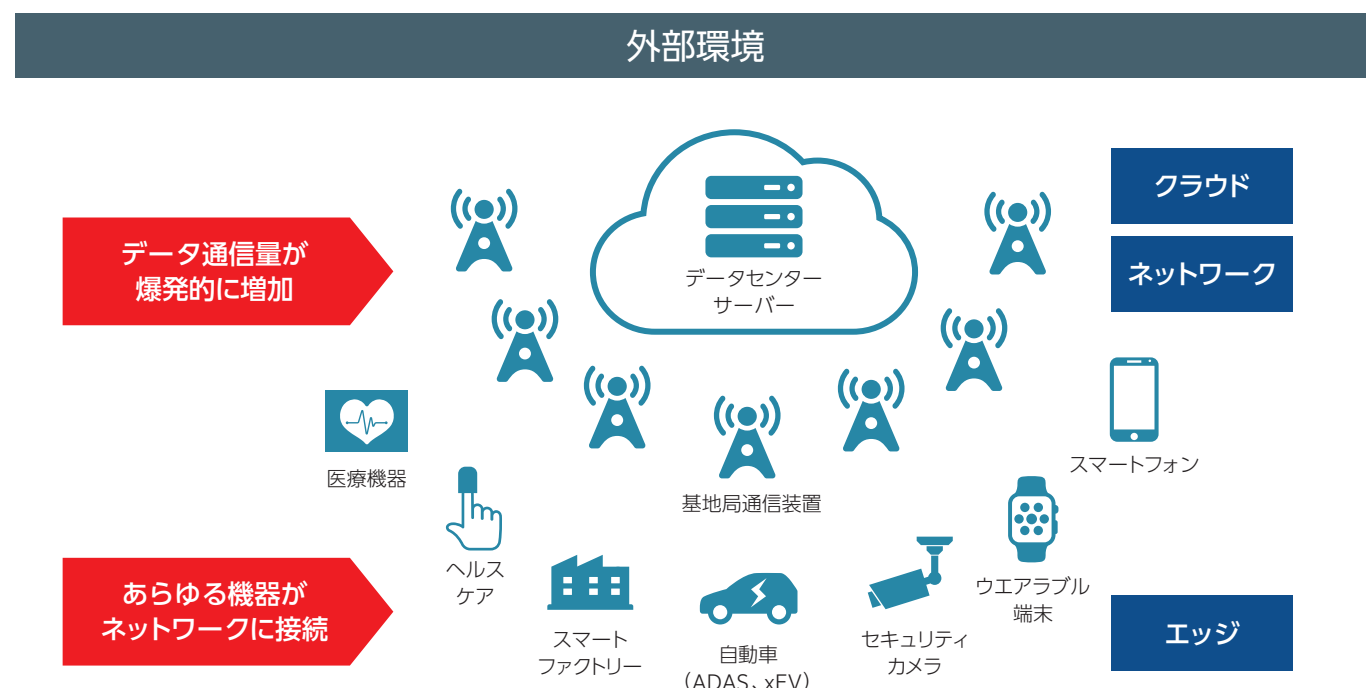


IoT時代到来に向け、成長戦略を推進

太陽誘電グループは、IoTや5Gによる情報通信技術の進化や自動車の電装化により爆発的な需要増が予想されている電子部品市場において、マーケティングを強化し、生産能力の増強を進めています。



IoT、5G、自動車電装化などの技術進化を支える電子部品の需要が拡大



FOCUS 自動車市場は電子化と電動化が鍵 → p.16 特集

大型・高耐圧・高信頼の電子部品需要が増加

3つの成長戦略

1 自動車、情報インフラ 市場向け拡大

売上構成比50%へ

自動車、情報インフラ市場は需要変動が少なく、持続的な成長が見込めます。その売上比率が大きくなることは、太陽誘電の業績や生産稼働率の安定に貢献します。今後は自動車の売上構成比25%、情報インフラ・産業機器の構成比50%を目指すとともに、需要変動の影響を受けにくい事業構造へシフトさせていきます。

2 将来の成長のための投資

コンデンサを中心とした設備投資と研究開発を加速

中長期的な成長が見込める積層セラミックコンデンサ(MLCC)を中心に積極的な設備投資を継続し、2019年3月期から2021年3月期の3年間累計で1,500億円の設備投資を計画しています。国内外で生産体制を強化し、MLCCの需要増に対応していきます。また、新商品開発、新事業開拓のための研究開発にも力を入れ、技術進化を追求していきます。

3 モノづくりの進化

「smart.E」プロジェクト

生産現場の情報をデータとして「見える化」して解析します。その結果を活用して設備と人のムダ・ムラ・ミスをなくした効率的な生産を実現し、生産性を桁違いに向上させて設備投資額の抑制と収益最大化を目指します。今後も、smart.Eの導入拡大とさらなる進化に継続的に取り組み、ゼロ・ディフェクトを追求していきます。

数値目標

